

広島湾さとうみネットワークでは、広島湾の環境を良くしたり、広島湾の賑わいを創出するための様々なプロジェクトを進めています。

これらのプロジェクトの一つである「干潟再生プロジェクト」は、広島湾に干潟を再生する方法の検討や、干潟の役割について市民に広く知ってもらうための取り組みを進めており、それらの取り組みの一環として、**昨年5月から井口漁業協同組合との協働によるアサリ養殖場の整備を進めています。**

今回の整備では、7月の大雨の影響でアサリ養殖場に土砂が堆積するなどの被害があったため、干潟に流出したごみの清掃と食害防止ネットの張り替えを行いました。

また、5月に採取したアサリの稚貝を新たなアサリ養殖場に放流し、今後の成長度合いを定期的に調べていくこととしました。

干潟再生プロジェクトでは、引き続き八幡川河口干潟でアサリ養殖場整備を進めるとともに、その結果を知っていただくための取り組み（イベント等）を行う予定です。

最後に、干潟再生プロジェクトの取り組みに賛同し、ご協力をいただきました井口漁業協同組合様に、深く感謝申し上げます。

開催日：令和2年8月1日（土）13:00-15:00

場所：広島市西区（八幡川河口部）

参加者：17名

実施内容：

- ①ごみの清掃
- ②アサリ食害防止ネットの張り替え
- ③アサリ稚貝の回収
- ④回収したアサリ稚貝を養殖場に放流



ごみの清掃（7月の出水で、色々なごみが干潟に流出していました。）



7月の出水で土砂に埋もれた食害防止ネット



食害防止ネットの張り替え作業



5月に採取してネットに入れて生育させたアサリ稚貝の回収とふるいわけ作業
(5月の段階では数ミリメートルの大きさだったアサリが、約1cm前後まで成長していました。)



新しい養殖場へアサリの稚貝を放流



放流したアサリの稚貝（約1cm前後ですが、これから大きく成長していきます。）



最後に、井口漁業協同組合さんのご厚意で潮干狩り体験



新たに整備したアサリ養殖場

今回は、新たに約20m区画のアサリ養殖場を3箇所整備しました。
3箇所のうち2箇所ではアサリの稚貝放流あり、1箇所ではアサリの稚貝なしとして、今後、アサリの成長度合いや採取量について、引き続き調査を進めていきます。